

i+Pad タッチャーの紹介

最近、ピコピコルームでも iPad や iPad mini の利用頻度は増えてきました。タブレット端末は、携帯に便利で、より直感的に操作して遊んだり、学習できるからです。

ただ、重度の障がいをもつ利用者には、寝たきりであったり、手の操作が困難な方もいます。緊張が強い、不随運動が出る、変形や拘縮により動かせる範囲が限られている、等あります。そこで、**タッチ**(指でタッチパネルを押す(さわる)操作のこと)を助けてくれる機器、「i+Pad タッチャー」(=アイパッドタッチャー)を購入したので、紹介します。

iPad の画面の**タッチ**したいところに静電ユニットを貼ります。本体(単 4 電池 2 本使用)には、3.5mm のジャックが付いているので、ビッグマックなどを接続して使用することができます。セットすることは、これだけです。

【使い方】

1.電極を取り出し、保護フィルムを剥がす



電極はゴミがつきやすいため、普段は表面にフィルムを貼り、ケース内に保管されています。

2.電極を iPad 画面の**タッチ**したい場所に貼ります



剥がれやすい時は、テープやバンドで固定します。

3.iPad タッチャーに好きなスイッチを接続します



4.iPad タッチャーの原電を ON にします



5.スイッチを押すと画面が**タッチ**されます



i+Pad タッチャーは、1 か所の**タッチ**に対応できます。そのため、アプリは、**ワンタッチ**で行えるもの(本類:めくる、太鼓の達人:太鼓をたたく、BabyTap:画面に**タッチ**、等)に限られますが、重度の障がいを持つ方には、朗報です。i+Pad タッチャーを 2 つ用意できれば、2 か所を**タッチ**することも可能となり、より楽しめる範囲が広がります。

インターネットでの販売で、販売価格 2,916 円(税込)でした。いかがでしょうか？

(PT 岸野)

TANO(新レクリエーションソフト)の紹介

5月の委員会で次に購入する機材の説明会を「株式会社 ラッキーソフト」さんをお招きして行われました。ソフト自体は USB メモリに入っており、専用機材と共にパソコンにつなぎ、プロジェクターやテレビに映して楽しむゲームです。

ピコピコには色々な種類のゲームがありますが、今回の TANO は画期的です。コントローラーは基本的にありませんが、声(音)の大きさ・方向に反応したり、センサーで身体の動きを感知して、その動きをゲーム内に投映するのです。

体験したゲームをいくつか紹介いたします。

「散歩」では、画面に公園の遊歩道が映し出され、その場で足踏みを行うと画面が進んでいくのです。早く足踏みをすれば画面も早く動きます。散歩場所は録画をすれば自由に変えられる(らしい)ので、中々外に出られない利用者様や、天気が悪い日などは散歩気分を楽しめるのではないのでしょうか。ひょっとしたら富士山も登頂できるかもしれませんよ。



「花火」や「穂つき」「窓ふき」も、体の動きをセンサーで感知して画面に投映するゲームです。

「カネカネキャッチ」は声で楽しむゲームです。画面上から硬貨やお札が落ちてくるので、下にあるザルを上手く誘導して沢山お金を集めていくゲームです。センサー前に数人が並び、声の出た方向・声の大きい方向に反応します。

他にも、スライドしてくる目・鼻・口を声で止める「福笑い」や、写真を声で撮りたいもできました。

今までのパソコンゲームや will とはまた違った、より利用者様主体で楽しめる内容でしたので、今後導入予定です。各病棟でぜひ体験してみてください。きっと面白いですよ。

(1 病棟 石井)

新職員講習会

新年度になり、今年もたくさんの新職員が入職しました。ピコピコルームの紹介も新職員オリエンテーションの一環として組み込まれ、今後の活用に向けて部屋の紹介と使い方の説明を行いました。

部屋の簡単な説明の後には、実際にピコピコの機器を体験。ワンクリックで楽しめるゲームが入ったパソコンやコミュニケーション機器、スイッチ、iPad など体験してもらいました。



今回の紹介で、一番反応が良かったのはドラえもんの子供用ラジコン。パソコンや iPad もいいですが、目の前のものが実際に動くとはやはり迫力がありますよね!(動くときに昔のドラえもんの声があるので、最近のお子さんには「声が変わった!」と言われてしまうのですが...)

ピコピコルームにはパソコンや iPad、コミュニケーションエイドなどのハイテクから、スイッチやおもちゃといったローテクまで様々な機器があります。みなさんの発想と工夫で日々の療育に役立ててくださいね。

(11 工学士 神田)

ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部生活支援室 ピコピコルームとは?

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどの IT 機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を高めたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。